月　日　名前　　／50点

【中3】国語 文章テスト　説明文 1/2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

学校のテストには、たいてい正解がある。答えが合っていれば丸、違えばばつだ。私たちは長いあいだ、この形の問いに答える練習をしてきた。そのせいか、どんな問いにも、どこかに一つの正解が用意されていると考えがちである。

しかし、生活の中で出会う問いの多くは、そうではない。部活を続けるかやめるか。友だちとけんかしたとき、先にあやまるかどうか。こうした問いには、誰にとっても同じ一つの正解はない。どちらを選んでも、得るものと失うものがある。

正解が一つでない問いに向き合うとき、私たちはつい、誰かに正解を教えてほしくなる。先生や親、あるいはインターネットの意見に答えを探す。もちろん、ほかの人の考えを聞くことは役に立つ。けれども、その答えは、その人の状況や大切にしているものから出てきたものであり、そのまま自分の答えになるとはかぎらない。

では、どうすればよいのか。大切なのは、「どれが正しいか」ではなく、「自分は何を大切にしたいのか」を問うことである。部活を続けるかどうかは、仲間との時間を大切にしたいのか、別のことに時間を使いたいのかによって、答えが変わる。自分が大切にしたいものがはっきりすれば、選ぶべき道も見えてくる。

正解が一つでない問いに答えを出すことは、自分がどんな人間でありたいかを決めることでもある。その答えは、あとで変わってもかまわない。大切なのは、他人の正解を借りるのではなく、自分で考えて選んだという事実である。そうして選んだ答えは、たとえうまくいかなかったとしても、次に考えるための確かな足場になる。

（この問題のための書き下ろし）

問一（十点）　筆者は、私たちはどんな問いにも何があると考えがちだと述べていますか。本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

問二（十点）　第二段落で、筆者が部活やけんかの例を挙げたのはなぜですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　生活の中の問いには、誰にとっても同じ一つの正解がないことを示すため。
イ　部活やけんかは、中学生にとっていちばん大切な問題だと示すため。
ウ　テストの問いよりも、生活の問いのほうがやさしいことを示すため。
エ　先生や親に相談することが大切だと示すため。

問三（十点）　筆者は、ほかの人の答えは何から出てきたものだと述べていますか。本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

問四（十点）　筆者は、正解が一つでない問いに向き合うとき、何を問うことが大切だと述べていますか。本文中から十五字以内で抜き出しなさい。

問五（十点）　筆者は、自分で考えて選んだ答えにはどんな意味があると述べていますか。「うまくいかなかったとしても」という言葉を使って、六十字以内で説明しなさい。

月　日　名前

／50点

合計　／100点

【中3】国語 文章テスト　物語文 2/2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

冬休みの塾の自習室で、私の隣の席には、いつも同じ女の子が座っていた。制服を見ると、別の中学の生徒だった。名前も知らない。私より先に来て、私より後まで残っていた。

彼女は、とにかく静かだった。ページをめくる音と、ときどき消しゴムを使う音しか聞こえない。私が集中できずにスマホを見てしまうときも、彼女の手は止まらなかった。私は、なんとなく負けたくなくて、スマホをかばんの奥にしまうようになった。

ある晩、私は数学の問題で完全に行きづまった。何度解いても答えが合わない。消しゴムで消しすぎて、紙が薄くなった。思わず、小さくため息をついた。

すると、隣から一枚のメモが、そっと差し出された。

「その問題、私も三日かかった。図をかくと分かるよ。」

顔を上げると、彼女は前を向いたまま、自分の問題を解き続けていた。私は言われたとおり図をかいてみた。すると、見えていなかった線が、すっと浮かびあがった。

私はメモの裏に「ありがとう。解けた！」と書いて、彼女の机のはしに置いた。彼女はそれを読んで、少しだけ口元をゆるめた。

それから冬休みが終わるまで、私たちは一度も声を出して話さなかった。そのかわり、ときどきメモを交換した。「今日は英語」「がんばろう」、そんな短い言葉だけだった。

最後の日、彼女の席に、一枚のメモが残されていた。

「春にどこかで会えたら、今度は声で話そう。」

私はそのメモを、参考書の表紙の裏にはさんだ。受験の日、試験会場の廊下で、私はその参考書を開き、メモの字を指でなぞった。名前も知らない誰かが、どこかで同じ日を迎えている。そう思うと、ふるえていた指先が、少しだけ落ち着いた。

（この問題のための書き下ろし）

問一（十点）　私がスマホをかばんの奥にしまうようになった理由を表す言葉を、本文中から十五字以内で抜き出しなさい。

問二（十点）　隣の女の子のメモには、問題を解くためにどうするとよいと書いてありましたか。本文中から十字以内で抜き出しなさい。

問三（十点）　「前を向いたまま、自分の問題を解き続けていた」とありますが、ここから分かる女の子の人物像として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　私に助けを求められるのがいやで、無視している。
イ　相手に気をつかわせないよう、さりげなく手助けをする人である。
ウ　自分の勉強が遅れるのを心配して、あせっている。
エ　私のため息がうるさくて、腹を立てている。

問四（十点）　「ふるえていた指先が、少しだけ落ち着いた」とありますが、それはなぜですか。六十字以内で説明しなさい。

問五（十点）　この文章の表現の特徴として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　二人の会話をたくさん使い、友情が深まる様子を説明している。
イ　声を出さずに交わされるメモの短い言葉を通して、二人の心の通い合いを描いている。
ウ　受験の厳しさを、数字や具体的なデータで説明している。
エ　女の子の視点から、私の成長を描いている。